



住民の声に応え三江線の存続を

国土交通委員会 大平喜信衆院議員が国交相の認識ただす

日本共産党の大平喜信衆院議員（比例・中国）は4月19日、衆院国土交通委員会で、路線廃止が取りざたされているJR西日本の三江線について質問。沿線住民や自治体の存続要望を無視してJR西日本が廃止を強行しないよう、石井啓一国土交通相に求めました。

国鉄民営化の経過や会社のあり方から 「赤字」を理由に廃止強行できないはず

大平議員は、「廃止になつてバスになつたら運賃が上がるのが心配」「一人暮らしで車も持たず、医者に行くのも買い物に行くのも利用している。なくなると大変困る」「地域振興・地方創生に逆行するのではないか」など、住民や沿線自治体の切実な声を紹介。三江線は、JR発足当時も赤字。それを承知でJR西に引き継がれた。いまJR西は一千億円もの過去最高益をあげており、民営化の経過やJR会社のあり方（公共性）から、赤字を理由にした廃止は許されないと迫りました。

三江線は、島根県江津市から広島県三次市まで、中国地方の中山間地域を江の川沿いに結ぶ、全長108キロのローカル線。JR西は昨年10月、沿線自治体に「持続可能な公共交通」を検討したいと説明。沿線6市町と島根、広島両県が、JR西と協議を続けています。

住民・自治体の合意前提は否定できず 石井大臣

大平議員が、「公共性をもつJR路線の存廃の判断は、関係自治体や住民の合意や納得が大前提になる」とただしたのに対し、石井国交相もそ

れを否定できませんでした。大平議員は最後に、「国交省は、JRに公共交通としての役割を十分果たさせるべきだ」と求めました。

質問前から多数の応援メッセージ

（一部を紹介します）

- 三江線問題、存続を望む沿線住民の声を届けてください。どうぞ宜しくお願ひします。
- 私は大の鉄道好き、乗り鉄、ローカル線ファンです。三江線も何回も乗っています。一地方の問題に終わらせず国会でしっかりと取り上げて下さる大平さんには心から敬意を表します。
- 活動お疲れさまです。ローカル線の廃止や並行在来線を切り捨ては重大問題ですね。三江線の問題はほかのローカル線にもかかわります。

